

MMO ゲーミングマウス M-DUX31BK ドライバー設定ガイド

このドライバー設定ガイドは、"M-DUX31BK"に付属のドライバーを使った、各ボタンの 機能変更、マクロの割り当て、DPIの設定などの操作について説明しています。

※ドライバーのインストール方法については、"M-DUX31BK"に付属のユーザーズマニュ アルをご覧ください。

※このドライバー設定ガイドは、Windows[®] 10 の画面で説明しています。 画面は OS によって異なりますが、操作は同じです。

ドライバーを起動する	⇒2 ページ	
ドライバーの画面について	▶4 ページ	
ボタシの機能を設定する	⇒ 6 ページ	
DPI値を設定する	⇒15 ページ	
各種機能設定画面を起動する	●16ページ	
マターを設定する	⇒22 ~- ××	

ドライバーを起動する

タスクトレイまたは通知領域のでアイコンをクリックして「設定 画面を開く」をクリックします。



Windows[®] 10、Windows[®] 8.1/8、Windows[®] 7 で通知領域に
が表示されている場合は、
なたクリックして
アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

2 ドライバーの設定画面が表示されます。

ゲーミングマウスを接続後、ドライバーの初回起動時は、ゲーミングマウスの本体メモ リに保存されている設定が読み込まれます。





ファームウェアのアップデートが必要な場合は、アップデータを促すメッセージが表示されます。次の手順に従って、ファームウェアをアップデートしてからゲーミングマウスを使用してください。

 OK をクリックします。
トラブルシュ−ティング X
ファームウェアのアップデートが必要です。 [OK] をクリックするとアップデートを開始します。
ОК
ゲーミングマウスを2台以上接続している場合、アップデートを進行で
きません。
2台目以降をパソコンから取り外し、 0K をクリックします。
ファームウェアのアップデートが開始されます。
トラブルシューディング ×
ファームウェアをアップデートしています
<警告> アップデート中にマウスを取り外さないで下さい。 マウロングが時代をユアトレメニカマニ
(人)(以)(()()()()()()()()()()()()()()()()(
() ゲーミングマウスは絶対に取りはずさないでください。ゲーミングマウ
スが故障する恐れがあります。
アップデートに成功すると、メッヤージが表示されます。
$2 \text{or} \overline{p} \neq 0 \overline{p} \neq 0 $
ファームウェアのアップデートに成功しました。 一度マウスを取り外してから再接続してください。
ОК
③いったんゲーミングマウスを取りはずし、再接続します。
これで、ファームウェアのアップデートは完了です。





1 プロファイル選択部

5 つのプロファイルが設定できます。5 つのプロファイル(プロファイル1~5) にそれぞれ異なるボタン設定を登録でき、プロファイルを切り替えることで設定をまとめて切り替えることができます。

詳細は、●「ボタンの機能を設定する」を参照してください。

2ボタンリスト

各ボタンおよびチルトホイールの名前と現在各ボタンに割り当てられている機能が表示 されます。ボタンの機能を変更するには、変更するボタンの番号、ボタン名、または機 能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。 詳細は、●「ボタンの機能を設定する」を参照してください。

3 DPI 設定部

DPI(Dot Per Inch)とは、ゲーミングマウスを1インチ動かしたときのカーソルの動きをドット数で示したものです。DPIの数値が高いほど、ゲーミングマウスの動きに対するポインタの移動範囲や速度が大きくなります。DPIの設定は4段階保存できます。設定した内容は自動的にマウスの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。詳細は、⊃「DPI値を設定する」を参照してください。

4 各種機能設定画面起動ボタン

レポートレート、マクロ設定画面、本体メモリ管理、その他各種設定をする画面を起動 します。

詳細は、●「各種機能設定画面を起動する」を参照してください。



プロファイルを選択する

最初にプロファイルを選択します。ボタン設定の内容が、選択したプロファイルに登録 されます。



ボタンの機能を設定する

ボタンリストには、ボタン番号、ボタン名およびチルトホイールの名前と現在各ボタン に割り当てられている機能が表示されています。



ボタンの機能を変更するには、変更するボタンの番号、ボタン名、または機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。

リストに表示しきれなかったボタンはホイールを回し、スクロールさせるかスラ
 イダーをドラッグして表示させてください。

ボタンの機能を設定するには

次の手順は、「3 ホイールクリック」に「音量ミュート」を割り当てる場合を例として 説明します。

1 変更するボタンの番号、ボタン名、または機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



2 ボタン設定画面の「音量」の「音量ミュート」をクリックします。 選択した機能が赤く表示されます。

設定できる機能の詳細は、●「ボタン設定画面」を参照してください。

タン設定画面					•
χόχ α α π π π α	ログリック レク (進む) ニールグリック	左グルク ポタン4 (原る)		·	音量 下げる
ж1-и () Эира	イールUP (右スクロール)	ホイールDOWN チルト左(左スクロール)	[≞] ≭	再生 前のト ラック 早送り	ー時停止 次のトラック
DPI設定 DPI設定 Y方向 DPI Lvを.	をモードを起動 時をDックする とげる DPI Lvを下	指走したDPIに変更 X方向をDyクする げる 次のDPI Lv	その他機能	設定画面を聞く マイコンビュータを開く メディアプレイヤーを開く	Webプラウザを聞く 電卓を開く
1-本−ド 型録ずる‡	-選択	登録するマクロ選択	7077-11k	プロファイル変更	
		無効	初期設定に戻す	+r>tu	B#73

3 登録するをクリックします。 0 8 ボタン設定画面 音量 Ð 音量 む ホイール 音楽 ► \mathbf{a} DPI設定 その他機能 DPI設定モードを起動 設定面面を聞く Ö 電卓を開く **∔**-#-ド 登録するキー選択 2 無効 初期設定に戻す 登録する

4 これで、ボタンの機能が変更されました。

GAMING SOFTWARE	ا کې
a same of	Profile2 Profile2 Profile3 Profile3 Profile5 1 20.907 50.907 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097 2 2.9097<
2 1 1 /0	3 ポイールジック 台田 ミュート 4 ポイールジャ ボイールジャ 5 ポイールジャ ボイールジャ 5 ポイールジャ ホイールジャ 61 グーミングボジン3 単数 単数
	G2 プードングボタン2 プロンドルを見 G3 グードングボタン3 販売 G4 グードングボタン4 単応
DPI 2022 X2/4689/L222 #5	Софан.
Iv.1 x 800 Iv.3 x 2400 Iv.2 x 1600 Iv.4 x 3500 Iv.2 x 1600 Iv.4 x 3500	

ホイールをクリックすると、「音量ミュート」が実行されます。

ボタン設定画面

マウス			音量		
	右クリック ポタン5(進む) ホイールクリック	左クリック ポタン4(戻る)	4))	音量 上げる 音量 ミュート	音量 下げる
ホイール			音楽		
•	ホイールUP チルト右 (右スクロール)	ホイールDOWN チルト左 (左スクロール)		再生 前のトラック 早送り	- 時 停止 次のトラック
DPI設定			その他機能		
×	DPI設定モードを起動 Y方向をロックする DPI Lvを上げる DPI L	指定したDPIに変更 X方向をロックする を下げる 次のDPI Lv	0	設定画面を開く マイコンビュータを開く メディアプレイヤーを開く	Webブラウザを開く 電卓を開く
キーボード		マクロ	プロファイル	_	
	登録するキー選択	登録するマクロ選択	2		

🔨 ボタンによってはすべての機能が割り当てられないものがあります。 割り当てられない機能は暗く表示され選択できません。

マウス

左クリック	左クリックします。
右クリック	右クリックします。
	ボタン5の機能を割り当てます。Webブラウザでは「進む」
ホタノ5(進む)	操作になります。
ギタン 4 (百丈)	ボタン4の機能を割り当てます。Webブラウザでは「戻る」
ホタノ4 (庆る)	操作になります。
ホイールクリック	ホイールをクリックします。

◎ 左クリックが割り当てられているボタンは、他のボタンに左クリックが割り当て られていないと変更できません。

ホイール

ホイール UP	ホイール UP の機能を割り当てます。
ホイール DOWN	ホイール DOWN の機能を割り当てます。
チルト右(右スクロール)	Web ブラウザ等で右にスクロールします。
チルト左(左スクロール)	Web ブラウザ等で左にスクロールします。

DPI 設定

	ミニウィンドウで DPI が微調整できるようになります。
	《設定方法》
	① 設定したボタンを押して DPI 設定モードを起動します。
DPI 設定モードを起動	②ホイール上下で DPI を調整します。
	Lv.2 X 1600 Y 1600 ホイールト下でDPIを容更します。
	③もう一度設定したボタンを押すと DPI が確定します。
	ボタンを押している間だけ、あらかじめ指定しておいた
	DPIに変更します。
	《設定方法》
	① 「指定した DPI に変更」 をクリックします。
	DPI 指定画面が表示されます。
指定した DPI に変更	② X と Y をそれぞれの値をドラッグして変更します。
	描定したDPIに変更 X 400 Y 400 キャンセル OK
	③ 🚾 ∞ をクリックし、DPI 指定画面を閉じます。
Y方向をロックする	ポインタの Y 軸方向(上下)の動きを禁止し、左右のみの 動きに設定します。
又 古向をロックする	ポインタのX軸方向(左右)の動きを禁止し、上下のみの
∧刀凹をロッフゅる	動きに設定します。
DPLIvを上げる	Lv1 → Lv2 → Lv3 → Lv4 の順に DPI のレベルを 4 段階で
	上げます。
DPI I v を下げる	Lv4 → Lv3 → Lv2 → Lv1 の順に DPI のレベルを 4 段階で
	下げます。
次の DPI Lv	$ Lv1 \rightarrow Lv2 \rightarrow Lv3 \rightarrow Lv4 \rightarrow Lv1 \cdot \cdot \cdot の順に DPI のレベ$
	ルを切り替えます。

キーボード

表示されたキーボード上で選択した任意のキーをマウスボタンに割り当てます。

登録するキー選択		(۵)
	7 B	
· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4 5	÷
±1724		ок

《設定方法》

① 登録するキー選択 をクリックします。

キーボード設定画面が表示されます。

②設定したいキーをクリックします。

・「Ctrl」、「Shift」、「Alt」など、同時押しが可能なキーは
 ● 「同時押しできないキーは
 ● 色で表示されます。

・この画面で同時押しが設定できないキーは、マクロを使用して同時押しが設定できます。
 ○「マクロを設定する」

③ をクリックし、キーボード設定画面を閉じます。

選択したマクロをマウスボタンに割り当てます。

マクロ設定画面の詳細やマクロの作成方法については、●「マクロを設定する」を参照 してください。

登録するマクロ選択	۲
Key_01_Pro1	
Key_01_Pro2	
Key_01_Pro3	
End	
±тури ОК	

《設定方法》

① 登録するマクロ選択 をクリックします。

マクロ選択画面が表示されます。

- ②設定したいマクロをクリックします。
- ③ _____をクリックし、マクロ選択画面を閉じます。

()マクロを設定したボタンのマクロを削除すると、ボタン設定は初期設定に戻ります。

音量

音量 上げる	Windows [®] の音量設定を上げます。
音量 下げる	Windows [®] の音量設定を下げます。
音量ミュート	Windows [®] の音量設定を消音にします。

音楽

再生	メディアプレーヤーを再生します。*
一時停止	メディアプレーヤーの再生を一時停止 / 再開します。*
***	メディアプレーヤーの1つ前のトラック / チャプター / ファイ
前のトラック	ルの先頭に戻ります。*
	メディアプレーヤーの次のトラック / チャプター / ファイルの
次のトラック	先頭に進みます。*
早送り	メディアプレーヤーの再生中に押すと、早送り再生をします。*

その他機能

設定画面を開く	ドライバーの設定画面を開きます。
Web ブラウザを起 動	標準の Web ブラウザを起動します。
マイコンピュータを	Windows®のエクスプローラから[PC] (Windows®7では「コ
開く	ンピューター」)を開きます。
電卓を開く	電卓を起動します。
メディアプレイヤー	既定のプログラムに設定されているメディアプレイヤーを起動
を開く	します。

プロファイル

プロファイル変更 プロファイルを順に切り替えます。

「プロファイル変更」を割り当てる場合、すべてのプロファイルで同じボタンに割り当てることを推奨します。 すべてのプロファイルに割り当てない場合、連続して押しても切り換えがループしなくなります。

無効

ボタン

クリックするとボタンの機能を無効に設定します。

初期設定に戻すポタン

クリックすると現在ボタンに設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル

ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

登録する ボタン

ボタン設定画面で選択した機能をボタンに登録します。

DPI 値を設定する

ゲーミングマウスの DPI を設定します。

DPIの設定は4段階保存でき、「DPILvを上げる」「DPILvを下げる」「次のDPILv」で切り替えできます。設定した内容は自動的にゲーミングマウスの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。



1 DPI 値設定バー

設定バーをドラッグして、DPIを50~3500 dpiの間で50 dpi単位で設定します。

② 設定できる最小値は 50dpi ですが、マウスカーソルがほとんど動かなくなります。 小さな値で確定してしまった場合は、他のマウスパッドなど動作可能な操作面を 探すか、他のポインティングデバイスを使用して数値を再設定してください。

2XとYを個別に設定する

チェックマークを付けると、X軸とY軸を個別に設定できます。 ポインタの動きを上下方向または左右方向に大きくするときに使用します。

各種機能設定画面を起動する

レポートレート、マクロエディタ、本体メモリ管理、その他各種設定をする画面を起動 します。



「レポートレート」設定画面起動ボタン

クリックすると「レポートレート」設定画面が起動します。

レポートレート		(
		500Hz
	\$#>\$#\	ок

レポートレートとは、ゲーミングマウスがパソコンに動きを送信する頻度を周波数 (Hz) で示したものです。値が大きいほど、操作がパソコンに早く伝わります。

125Hz, 142Hz, 166Hz, 200Hz, 250Hz, 333Hz, 500Hz, 1000Hz の 8 種類の中から 設定します (初期値は 500Hz です)。

《設定方法》

① [レポートレート] をクリックします。

レポートレート設定画面が表示されます。

- ②スライダーを移動させて、レポートレートを設定します。。
- ③ _ _ レ をクリックし、レポートレート設定画面を閉じます。

[マクロエディタ]起動ボタン

クリックすると「マクロ設定画面」が起動します。

マクロ	設定画面							• •
C	マクロの編集			>		マウス に	保存したマクロ	
	動作タイプ	1回だけ実行する		34 bytes		[+	
		End						
	2							
						メモリ残量: 7166 bytes		
					1			
					1	7-בע	ィング設定	
						✓ アクション間のウェークリックした場所を		
						マウスカーソルの動	ふがもレコーディングする	
	レコーティング エラ	Fr9をクリア Hotkey設定	ファイルから読込 フ	アイルに保存		● 精度重視	● サイズ重視	

ー連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、ゲーミングマウスの本体メ モリに保存したあと、ボタン設定画面でボタンに割り当てることで使用できるようにな ります。詳細は、 **◯**「マクロを設定する」を参照してください。

「本体メモリ管理」設定画面起動ボタン

クリックすると「本体メモリ管理」設定画面が起動します。





設定したゲーミングマウスの本体メモリをパソコンのファイルとして保存します。 ボタンをクリックすると、名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。 初期設定のファイル名は、「mouse_年月日」になります。必要な場合は名前を変更て

ください。



同じ名前のファイルがある場合、上書きしてもよいか確認 のメッセージが表示されます。



ファイルから設定を読込

パソコンに保存されているファイルをゲーミングマウスの本体メモリに読み込みます。 ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



ボタン

◎ をクリックすると [開く] ダイアログボックスが表示されます。



保存したファイルを選択し、 ■<<p>「▼をクリックします。
ゲーミングマウスの本体メモリにファイルの内容が読み込まれます。

全ての設定をリセットボタン

ゲーミングマウスの本体メモリに保存したすべての設定(ボタンの機能割り当て、DPI の設定、マウスに保存されているマクロなど)をリセットし、初期設定に戻します。 ボタンをクリックすると確認のメッセージが表示されます。



◎
 をクリックするとすべての設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

「その他」設定画面起動ボタン

クリックすると「その他」設定画面が起動します。



□ 設定変更時のミニウインドウを表示する

チェックボックスをオンにすると、プロファイルや DPI 設定の起動時に設定内容をミ ニウインドウでデスクトップの左上に表示するようになります。



▲ 本製品は設定をゲーミングマウス本体に保存するので、ドライバーがインストー ルされていないパソコンでも設定は有効ですが、ミニウィンドウはドライバー がインストールされていないパソコンでは表示されません。

□ Windows のマウスカーソル加速を強制的に無効にする

チェックボックスをオンにすると、Windows[®]のマウスカーソル加速を無効にします。 Windows[®]のマウスカーソル加速が有効になっている場合、マクロで「マウスカーソ ル移動」のアクションが正しく動作しません。

マクロを設定する

ー連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、保存(ゲーミングマウスの本体メモリに自動的に保存されます)した後、ボタン設定画面でボタンに割り当てることで使用できるようになります。

マクロ設定画面



マウスに保存したマクロ

ゲーミングマウスの本体メモリに保存されているマクロの名前と容量が表示されます。 また、ボタンに割り当てられたマクロには、どのプロファイルで使用しているかを判別 できるプロファイルが次の色に対応しています。



マクロ名を変更するとき

- マクロ名をダブルクリックします。
 マクロ名を入力するダイアログボック スが表示されます。
- ②キーボードでマクロの名前を入力します。

2メモリ残量

ゲーミングマウスのメモリの残量が表示されます。マクロは8Kbyteまで作成できます。 本体メモリの残量が足りない場合は、エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存 する機能を利用してバックアップしたあと、本体メモリに保存されているマクロを削除 し、空き容量を確保してください。

3削除ボタン

ゲーミングマウスの本体メモリに保存されているマクロを削除します。

①削除するマクロ名を選択し、をクリックします。

削除確認のメッセージが表示されます。

削除		۹
'Key_01_Pro1' を剤除しますか?		
	±р>ел ок	

② ok をクリックします。

マウスの本体メモリからマクロが削除されます。



4マウスにマクロを保存

エディタの内容をゲーミングマウスの本体メモリにマクロとして保存します。保存した マクロは「マウスに保存したマクロリスト」に表示されます。

エディタの内容を新しいマクロとして保存するとき

①「マウスに保存したマクロ」の + をクリックします。

- ② ●をクリックします。
 マクロ名を入力ダイアログボックスが
 表示されます。
- ③キーボードでマクロの名前を入力しま す。
- ④ _ ベ をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存されます。

エディタの内容を作成済みのマクロに上書きするとき

- マウスに保存したマクロ」で上書きするマクロ名を クリックします。
- ② かをクリックします。

上書き確認のメッセージが表示されます。

上書き保存	\$
'Key_01_Pro1' に上書きしますか?	
	\$4>41 OK

③ _ ok をクリックします。

マクロが本体メモリに上書き保存されます。

5 エディタに読み込み

「マウスに保存したマクロ」のマクロをエディタに読み込みます。

作成済みのマクロをエディタに読み込むとき

- ①「マウスに保存したマクロ」でマクロ名をクリックします。
- ② をクリックします。
 エディタにマクロの内容が表示されます。

マクロ名を入力	
Key_01_Pro3	
	+P/L/L OK



1動作タイプ

マクロの動作タイプを設定します。

動作タイプをクリックするたびに、次の3タイプが切り替わります。

「1回だけ実行する」

「もう一度キーを押すまで実行し続ける」

「キーを押している間実行し続ける」

2編集中のマクロの容量

エディタで作成または編集中のマクロの容量を表示します。

3エディタ

マクロを作成または編集します。マクロのコマンドおよびアクションは、エディタの上 から順番に動作されます。

コマンドまたはアクションを追加するとき

アイコンをエディタ上の追加したい位置にドラッグ&ドロップします。



Ø	「ウェイト (待機時間)」コマンドを追加する場合は、ドラッグ&ドロップして から、次の方法でウェイト (待機時間)を設定します。 ● ■ / ■をクリックして待機時間(単位:ms)を変更します。 ● コマンドをダブルクリックして表示されるマクロ編集ダイアログボックスで 待機時間(単位:ms)を入力し、 ■ をクリックします。
	ウェイトの編集 「220 キャンセル OK
*	 「キーを押す」アクションを追加する場合は、ドラッグ&ドロップしてから、 キーボードで設定するキーを押します。 「マウスボタンを押す」アクションを追加する場合は、ドラッグ&ドロップしてから、設定するマウスボタンを押します。 「スクロールホイール上下」アクションを追加する場合は、ドラッグ&ドロップしてから、スクロールホイールを設定する方向に回します。
	 ・ゲーミングボタン1~7は設定できません。 ・チルト(左右のスクロール)はマクロに登録できません。



エディタの操作

- •アイコンをクリックすると、選択中のコマンドまたはアクションの上の行に追加されます。
- コマンドおよびアクションの順番はドラック&ドロップで入れ替えできます。
- 連続した複数のコマンドおよびアクションを選択するには、[Shift]キーを押しながらクリックします。
- ・すべてのコマンドおよびアクションを選択するには、[Ctrl]キー+[A]キーを押します。
- コマンドおよびアクションをコピーするには、[Ctrl] キー+[C] キーを押します。
- コマンドおよびアクションを貼り付けるには、挿入したい位置の下のコマンドまたはアクションを選択し、[Ctrl] キー+[V] キーを押します。選択中のコマンドまたはアクションの上の行に追加されます。
- コマンドおよびアクションを削除するには、[Delete] キーを押します。

エディタ上に表示されるアイコン

Đ	「ウェイト(待機時間)」コマンドを示します。ダブルクリックで表示されるダ イアログボックスで設定を変更できます。
*	「キーを押す」アクションを示します。
٩	「キーを離す」アクションを示します。
\checkmark	「マウスボタンを押す」アクションを示します。
٨	「マウスボタンを離す」アクションを示します。
3	「スクロールホイール上」アクションを示します。
ð	「スクロールホイール下」アクションを示します。
R	「カーソル相対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示される ダイアログボックスで設定を変更できます。
R	「カーソル絶対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示される ダイアログボックスで設定を変更できます。
er and	コマンドをマクロから追加したときに表示されます。レコーディングしたアク ションには表示されません。

4 エディタをクリア

エディタの内容をすべて削除します。

マクロの新規作成時、前の編集内容が表示されているときは エイのマップをクリックしてください。前の設定をリセットせず、マクロ編集のベースとして利用することもできます。

5 レコーディング

実際にキーボードやマウスボタンで操作した内容を記録し、マクロとして使用することができます。

たのできます。

たのでは、

<

6 Hotkey 設定

レコーディングをスタート / ストップするキーを設定します。

初期設定は [F10] キーに割り当てられています。

[F10] キーが他のアプリケーションソフトに割り当てられている場合は、[F10] キー 以外に変更できます。

Hotkey認定をクリックし、設定するキーボードのキーを押します。

7 ファイルから読込

ファイルとしてパソコンに保存したエディタの内容をエディタに読み込みます。

エディタの内容をパソコンに読み込むとき

アイルから読込をクリックします。

[開く] ダイアログボックスが表示されます。

②保存したファイルを選択し、 ■(◎) ▼をクリックします。

エディタにファイルの内容が読み込まれます。



8 ファイルに保存

エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存します。

エディタの内容をパソコンに保存するとき

 アイルに保存 をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

ファイル名を入力し、 保存() をクリックします。

初期設定のファイル名は、「マクロ名_年月日」になります。必要な場合は名前を変更て ください。

∂ 名前を付けて保存			×
$\leftarrow \rightarrow \neg \uparrow$	<< ドキュメント > ELECOM M-DUX30 50	› 🗸 ያ ELECOM M	-DUX30 50の検索 🔎
整理 ▼ 新しいフ	ォルダー		III 🔹 😮
dux	▲ 名前 ▲	更新日時	種類
Links tk_dux 新しいフォルダー	Favorite	2015/11/23 14:	26 ファイル フォルダー
ConeDrive			
A (6)	v <		,
ファイル名(N	Key_01_Pro3_2015-11-23.mf		
ファイルの種類(丁):	Macro File (*.mf)		×
ヘ フォルダーの非表示		保存(5) キャンセル

9 レコーディング時の設定

レコーディング機能を使ってマクロを定義する際の設定をします。



アクション間のウェイトもレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のウエイト(待機時間)も記録されます。

クリックした場所をレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルをクリックした座標も記録されます。

マウスカーソルの軌跡もレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルの軌跡も記録されます。

レコーディングの精度を「精度重視」または「サイズ重視」から選択します。「精度重視」 は「サイズ重視」よりカーソルの記録間隔が細かくなり、なめらかなカーソル移動が再 現できますが、消費メモリサイズが大きくなります。

マクロを作成する例

次の手順は、キーボードの [H] キー、[e] キー、[l] キー、[l] キー、[o] キー、[Enter] キーを順番に押すマクロを作成する場合を例として説明します。

■ ボタン設定画面で[マクロ設定画面]をクリックします。



マクロ設定画面が起動します。



2 動作タイプをクリックし、マクロの動作タイプを設定します。

3 必要に応じて、レコーディング設定を設定します。

エディタでマクロのコマンドまたはアクションを追加します。
 アイコンから追加する場合

をクリックし、キーボードの[H] キーを押します。
 をクリックし、キーボードの[e] キーを押します。
 をクリックし、キーボードの[l] キーを押します。
 をクリックし、キーボードの[l] キーを押します。
 をクリックし、キーボードの[o] キーを押します。
 をクリックし、キーボードの[co] キーを押します。

レコーディングで追加する場合

レコーティング をクリックします。

- ②キーボードの [F10] キー(初期設定)を押し、レコーディングをスタートします。
 ③キーボードの [H]、[e]、[l]、[l] [o]、[Enter]の順にキーを押します。
- ④キーボードの [F10] キー(初期設定)を押し、レコーディングをストップします。

⑤ [マウスに保存したマクロリスト]の + をクリックし、 ◆ をクリックします。 マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

⑥ マクロの名前を入力し、 ● × をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存されます。



「マウスに保存したマクロ」には作成したマクロが表示されます。



2000 をクリックし、マクロ設定画面を終了します。

これで、マクロが作成されました。

作成したマクロは、ボタン設定画面でボタンに割り当てることができます。

^{ウエイト(待機時間)を記録しない場合は、「アクション間のウェイトもレコーディングする」のチェックマークをはずしてください。}

MMO ゲーミングマウス

M-DUX31BK

ドライバー設定ガイド

2015年12月4日第1版

- •本マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本マニュアルの内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォ メーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いか ねますのでご了承ください。
- その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

©2015 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.

33